

発刊にあたって

地域の皆様をはじめとする多くのボランティアの方々のご協力のもと、京都市立の全小学校で実施されている「放課後まなび教室」。

同学年や他学年の友だちと自習や読書をしたり、楽しくカルタや折り紙をするなど、子どもたちにとっては、学習習慣を確立する学びの場に加え、地域の方々とふれあう貴重な体験の場となっています。

教育委員会では、今後継続的に、各校の創意工夫あふれる「放課後まなび教室」の様子をお伝えし、参考となる情報を提供していきます。

安井小学校放課後まなび教室

「スラックラインをやってみよう！」



安井小学校（右京区）の体育館で10月15日に「スラックラインをやってみよう！」を実施し、安井小学校放課後まなび教室に登録する児童と近隣の児童館に在籍する児童、合わせて39名が、「スラックライン」の世界チャンピオン 福田恭巳選手のパフォーマンスを見学したり、実際に「スラックライン」に挑戦したりしました。

このプログラムは、NPO団体「放課後NPOアフタースクール」が運営主催し、全国の「学童クラブ」や「放課後まなび教室」等を募集対象として、市民先生による出張授業、楽しく学べるプログラムを提供している「スマセイアフタースクールプロジェクト」に安井小学校放課後まなび教室が応募し、NPO団体、放課後まなび教室、児童館が連携することによって開催が実現しました。

「スラックライン」とは柱や木の間に通した幅5センチメートル程のベルト状のラインの上でアクロバティックな技を競うスポーツで、世界大会も開かれています。

福田選手は昨年のスラックライン世界チャンピオンで、オープニングのデモンストレーションを見学した児童は、福田選手が細いラインの上で開脚やバク宙などの技を華麗に決めるたびに大きな歓声を上げていました。

児童はその後、福田選手の手を借りながら、児童用に高さ20センチ程の場所に張られた長さ2メートル程のラインの上で、片足で20秒立ってみたり、歩いてみたりするなどの体験をしました。

バランスを取るのが難しいのか、最初の内はすぐに地面に足をついてしまう児童が多かったのですが、時間が経つにつれて20秒立ったままでいられる児童も増え、プログラムの終わりにはラインの上で長い距離を歩ける児童も出てきました。児童はみんな真剣な表情でバランスをとり、長い時間立っていたときには満足そうな表情をして、新しいスポーツに触れられる機会を楽しんでいました。

編集後記

日々の皆様の実践は全市共通の財産です。多くの教室に取材に行きたいと思っています。また11月に実施されるテーマ別研修会の様子や感想など、多くの情報を共有していければと考えています。ご意見など気軽にお寄せください。

発行 京都市教育委員会生涯学習部放課後まなび教室担当

〒604-8064 京都市中京区富小路通六角下ル骨屋之町 549 (元生祥小学校) TEL:254-5015 FAX:254-5020